



奨学金制度のご案内

当院では、看護師・助産師・保健師養成学校に入学を予定される方、在学中の方で卒業後に当院で働くことを希望される方を対象に、奨学金制度を設けております。ぜひこの制度を利用し、自分の看護師になるという夢をかなえてみませんか。また、お知り合いの方で奨学金制度の利用をご希望の方がお見えになりましたら、ぜひご紹介ください。

お気軽にお問い合せください。

(058) 388 - 0111 (代)
E-mail jinji@matsunami-hsp.or.jp 担当：人事部 林



講習会・イベントのご案内

松波総合病院 がん患者会『絆』

患者さま向け

日時: 1月24日(火) 11:00~13:00
場所: 松波総合病院 3F講堂
対象: 当院に通院・入院治療中のがん患者さまとそのご家族、ご遺族、ご友人など。
内容: 患者さまはもちろん、ご家族やご友人の方々も皆様お誘い合わせの上、どんで参加下さい。みんなで喋りながら、お昼のひと時を過ごしましょう。
テーマ: 『痛み*我慢しない!』
講師: 松波総合病院 リハビリテーション科部長 松波 紀行先生
注意事項: 事前申込みや参加費は必要ありません。どなたでもお気軽にご参加下さい。開催時間内は出入り自由です。軽食や飲み物等を持ち込んで頂いても構いませんが、各自でご準備下さい。

第79回 すこやかネットワーク

医療関係者向け

日時: 1月18日(水) 19:00~
場所: 松波総合病院 3F講堂
テーマ: 『B型、C型肝炎の感染について』
講師: 松波総合病院 消化器内科部長 伊藤 康文先生

かかりつけ医院のご紹介



羽島郡 岐南町のサンライズクリニック

内科 放射線科 婦人科
消化器内科 循環器内科

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
午後4:00~ 7:00	○	○	—	○	○	—

休診日 日曜日・祝日
〒501-6004 岐阜県羽島郡岐南町野中3丁目220
☎ 058-247-3322 FAX 058-247-5300
—: 休診

院長: 美濃輪 博英

当クリニックは平成7年10月開業以来、疾病の早期発見・早期治療をモットーに、外来診療と人間ドック等の健診および地域の皆様に身近な町民健診や在宅医療も行っています。検査設備の充実を図り、胃・大腸内視鏡や大腸CT検査等も行っております。かかりつけ医院としてご来院していただきたいと思います。



お気軽にお問い合せください。

058-388-0111
http://www.matsunami-hsp.or.jp/



当院は、病院内・敷地内全面禁煙です。皆様方のご理解とご協力をお願いします。

社会医療法人 蘇西厚生会 松波総合病院 〒501-6062 岐阜県羽島郡笠松町田代185-1

患者さまと
病院をつなぐ
かけはし
No.147
MATSUNAMI

まつなみ

2012
1
発行
社会医療法人
蘇西厚生会

2012年 年頭にあたり

社会医療法人蘇西厚生会

理事長 松波 英寿



新年おめでとうございます。

昨年は皆様にとってどの様な年であったでしょうか。重大な事柄として世界規模で見れば、アラブ革命、ウサマ・ビン・ラディンの殺害、ギリシャ危機が挙げられるでしょう。特にアラブ革命は近未来の世界情勢に大きく影響を与えるでしょうし、ギリシャ危機は近い将来の世界的経済危機の引き金になる可能性が強いです。国内の重大事項としては誰もが共通に認識していると思いますが、東北の震災と放射線汚染であり、個人レベルでもすばらしい一年であったと自覚できる人は少ないことでしょう。わが国は現在、GDP順位の低下が示す以上に経済力は低下し、国際社会での発言力の低下、生徒の学力の国際比較での低下が懸念され、義務は果さず、権利のみ主張する人が増えています。冷静に判断して、この国の未来は明るいと言測する識者は少ないことでしょう。

そういった認識の下で現在の日本の医療を見ると、一流国の一流の医療を国民の多くが受けようとするのは困難であることを自覚しなければなりません。例えば外科学においては、日本の外科の実力は一部の分野では世界

一流ですが、総じて一流とは言い難い現状です。日本の医療システムもしかりです。無駄の多い日本の医療が見直されることは当然でしょう。また皆保険制度そのものは世界の一流レベルといえると思いますが、その皆保険も危ういのが実情です。この様な状態では、将来の保険制度も、国民の受診の仕方も、医療制度そのものも大きな痛みを伴いながら変わらざるをえないでしょう。病院の統廃合も進むでしょう。しかし、患者(病者)さまはいつの世にも存在し、むしろ高齢者が増えるため、今後は、相対的に介護-医療の需要は増えることでしょう。

そうした中、私たち蘇西厚生会職員はどうしなければならないかを考えると、自助努力で地域住民の皆様にとって必要とされる正しいことを行わなければなりません。いよいよM・タワーの建築が始まります。古い建物は建て直します。世界の一流は無理でも国内では一流になり、より高きを望める医療を行いたいと思います。

それが、地域住民の皆様の一助となるはずで、今年こそは良い年になるように願いつつ、今年もよろしくお願ひ申し上げます。

2012年 新年にあたって 常に地域住民の方々の 健康を守って 共に歩んでいきたい

社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院
病院長 山北 宜由



新年明けましておめでとうございます。

松波総合病院は、昭和8年に松波外科医院として創設以来、創設者の信念を受け継ぎ、地域中核の社会医療法人の病院として「地域住民の皆様へ安全で質の高い医療・福祉を効率的かつ継続的に提供する」ことを理念に掲げ、特に救急医療に対しては24時間速やかに対応するよう努めてまいりました。私どもは、根拠に基づいた安全な医療を患者さんに提供することはもとより、患者さんおよびその家族の方々の権利、プライバシーを尊重して医業に専念しております。

現在、当院は専従の救急専門医を配置して救急医療の充足を図り、外傷患者はもとより、急性心筋梗塞や脳卒中に24時間迅速に対応できる体制をとっています。がん診療については、専門とする医師を揃え、従来からの外来化学療法、PET、放射線治療などに加え、昨年度からは新たにロボット手術支援装置「ダ・ヴィンチ」を導入し、大腸がん、前立腺がんなどの手術を実施するなど、より先進的な治療にも取り組んでいます。

さらに「医療の質」の向上をめざす当院は、昨年度から各種診療指標を公表しています。これによって、患者さんの目からも他院の診療レベルとの客観的な比較が可能になり、それと

同時に私たちも診療レベル向上のための目標設定が可能になると信じています。また、積極的に院内で研修会を開催し、当地域の医師だけでなく、事務職を含めた全ての医療関係者に参加を呼びかけ、地域全体の「医療の質」の向上をめざしています。一方、効率の良い医療を提供するため、感染制御、栄養サポート、呼吸管理、緩和ケア、褥創管理、周術期管理、糖尿病管理など、医師だけでなく医療スタッフ総力でおこなう多くのチーム医療を実践し、全ての医療スタッフがより多く患者さまと係わって診療していくシステムも構築しています。また、診療所との連携を蜜にしつつ、松波総合病院との役割分担をよりはっきりしていきたいと思っています。

当院は、厚生労働省の指定する1994年からの臨床研修指定病院であると同時に、現在45医学会の認定専門医研修指定施設として若手医師の研修の場でもあります。高い専門性を有した、充実した指導医が揃っているからこそその研修病院です。

私たち松波総合病院は、常に地域住民の方々の健康を守って共に歩んでいきたい、そう願って新たな改善点を模索しつつ毎日の診療に努めております。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

木枯らしが吹けば、 風邪の季節です。

今年の木枯らし1号は、関東地方で10月26日、近畿地方で10月25日に観測されたと発表されました。木枯らしが吹けば風邪の季節ですが、毎年、寒くなってまず現れるのは、吐き下しの風邪といわれる感染性胃腸炎です。代表的なものとしてノロウイルス感染症がよく知られています。数日間でおさまっていくものが大半ですが、感染力が強く、症状も激しいため、小児やお年寄りでは要注意です。その後に現れるのがインフルエンザです。騒がれた新型インフルエンザは、すでに季節性インフルエンザの仲間入りをしました。関東地方では小流行が見られ、岐阜県下でも小流行がすでに起こっています。交通網が発達している現代では、都市部で流行がおこると交通機関を通じて

副院長・総合内科部長 村山 正憲

専門分野：内科一般
認定資格：日本内科学会：指導医
総合内科専門医：認定内科医
日本内分泌学会：指導医・専門医
所属学会：日本内科学会・日本内分泌学会・日本糖尿病学会
日本血液学会・日本感染症学会・日本リウマチ学会



感染者が移動するため、直ぐに近隣に広がって行きます。いつもいわれる事ですが、感染予防は、うがい手洗い、また風邪を引いたら、咳エチケットとしてのマスクの着用です。基本を守って自らと周囲の人を守りましょう。また、現在近年になく大流行しているのが小児を中心としたマイコプラズマ肺炎です。8割は14歳以下の小児といわれています。菌を吸入して2~3週間後に発症するといわれ、最初発熱し、その後、しつこい空咳が、特に夜間早朝に持続するのが特徴です。学校職場や家庭内で感染するといわれています。咳が長引く場合には、他に百日咳や、まだまだ稀ではない肺結核もありますので医療機関を受診していただきたいと思ひます。

言語聴覚療法編



馬場言語聴覚士の

リハビリ まめ知識

料理のひと工夫で、 食事を楽しく安全に

みなさんは食事やお茶の時間に、むせて困ることはありませんか？

私たちは普段、何気なく食べ物を飲み込んでいますが、その時に口やのどの中では、さまざまな器官が上手に協力し合っていて動いています。しかし、病気の後遺症や加齢に伴って「飲み込み」が上手にできなくなると、むせが起こりやすくなり、場合によっては誤嚥性肺炎などの病気にかかることもあります。そこで、今回はより安全に食べるための「料理のひと工夫」をご紹介します。

①加熱調理：生の野菜が食べにくい場合は、小さく切るのではなく比較的大きく切り、十分に加熱することで柔らかく食べることができます。

②切り方の工夫：噛むことに問題がある場合は、みじん切りのように細かく切るのではなく、隠し包丁を入れたり、蛇腹切りのようにしたりします。

③油脂：マヨネーズやバターなど油脂を加えることで滑らかになり、飲み込みやすくなります。

④つなぎ：ハンバーグや肉団子を作るときの卵のようなつなぎは、そばろ状にならず、噛みやすくなります。和え物などの合え衣も同様に飲み込みやすくなります。

⑤とろみ：一般にさらっとした液体は、むせやすいとされています。片栗粉やくず、市販の増粘剤などでとろみをつけるとむせずに飲むことができます。

食事は楽しく、安全に！ みなさんどうぞお試しください。

知ってトクする

製薬会社の

くすりのお話し



「種類が増えました！インフルエンザの薬」

12月から3月はインフルエンザの流行する時期です。インフルエンザはウイルスが原因でおこる病気で、通常の風邪に比べ、発熱が急激であることや全身症状が強いことが特徴です。ウイルスの増殖を抑える薬としてタミフル（飲み薬）、リレンザ（吸入）が主に使われてきました。これらの薬は症状のあるなしに関わらず処方された日数だけ使うことが大切です。2010年にイナビル（吸入）、ラピアクタ（注射）の2つの薬剤が発売されました。これ

らの新しい薬の特徴は1回の吸入または注射で治療が完結することです。

インフルエンザの予防は手洗い・うがいが基本です。もしインフルエンザにかかってしまったら自宅で安静にすることや、マスクを着用し周囲にうつさない配慮が大切です。なおインフルエンザには使用が不適切な解熱剤があります。インフルエンザが疑われる場合は、自己判断で解熱剤を使用せず早めの受診をおすすめします。